

事業用大規模建築物 廃棄物保管場所等設置届

令和 年 月 日

北九州市長 様

住 所(所在地)
(法人名)
氏 名(代表者)

北九州市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第27条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

設置場所	区 丁目 番号地		
建築主(注1)	住所 氏名	電話()	
設計者	住所 氏名	電話()	
工事施工者	住所 氏名	電話()	
建物の名称	(建物の用途)		
保管場所 及び 保管設備	必要容積 (注2)	1日のごみ容量 _____ m ³ × 収集間隔日数 _____ 日 = _____ m ³	
	保管容器等の 必要数量 及び 保管場所の 必要床面積 (注3)	保管容器の場合 容器名称()外寸 縦 _____ mm 横 _____ mm 高さ _____ mm 必要数量 必要容積 _____ m ³ ÷ 1容器の容量 _____ m ³ = _____ 個 必要床面積 必要数量 _____ 個 × 1容器の必要面積 _____ m ² = _____ m ² ポリ袋(45ℓ用)の場合 必要枚数 必要容積 _____ m ³ ÷ 1袋の容量 0.036 m ³ = _____ 枚 必要床面積 必要枚数 _____ 枚 × 1袋の必要面積 0.2 m ² = _____ m ²	
	保管場所面積 (注4)	床面積 _____ m ² 延べ面積 _____ m ²	
	再使用等対象物 保管場所(注5)	床面積 _____ m ² 延べ面積 _____ m ²	
敷地面積等	敷地面積 _____ m ² 収集車の通行道路 公道・私道 幅員 _____ m		
建築物	延べ面積	_____ m ²	
	構造	造、地下 階、地上 階	
工事着手予定年月日	令和 年 月 日	工事完成予定年月日	令和 年 月 日
使用開始予定年月日	令和 年 月 日	洗 浄・排水設備	洗 浄 加所・排水 加所

添付書類 1. 保管場所の位置図(建物位置、収集車両の敷地内使用道路(搬入搬出ルート)が分かるもの)

(注6) 2. 保管設備の仕様及び設計図(配置図・断面図・構造図)

…延べ床面積、保管場所床面積の根拠となる求積図

(注3) 保管容器の必要数量・ポリ袋の必要枚数は小数点以下四捨五入

環境局受理印

保管場所必要容量計算書

下記の計算式により、一般廃棄物保管に必要な容積を算出し、表面の設置届必要容積欄に転記して下さい。
 なお、一般廃棄物の1日の排出総量が不明の場合は、次表の用途別の床面積当り排出量を目安にして下さい。

1日当りの排出量単位 kg/m²

施設の用途	床面積当り排出量	施設の用途	床面積当り排出量
事務所ビル	0.05 kg	学校	一人当たり0.15 kg
文化施設	0.04 kg	娯楽施設	0.015 kg
店舗(飲食店)	0.35 kg	駐車場	0.005 kg
店舗(衣料品店)	0.35 kg		
デパート	0.12 kg		
ホテル	0.08 kg		

①
 用途別床面積当り排出量 延べ床面積(※1) 1日の排出量
 (_____ kg/m² × _____ m²) ÷ 1.000 kg = _____ トン

②
 用途別床面積当り排出量 延べ床面積(※1) 1日の排出量
 (_____ kg/m² × _____ m²) ÷ 1.000 kg = _____ トン

③
 用途別床面積当り排出量 延べ床面積(※1) 1日の排出量
 (_____ kg/m² × _____ m²) ÷ 1.000 kg = _____ トン

④
 用途別床面積当り排出量 延べ床面積(※1) 1日の排出量
 (_____ kg/m² × _____ m²) ÷ 1.000 kg = _____ トン

1日の総排出量 = ①+②+③+④ = _____ トン

1日の総排出量 1日の総排出量 1日の総排出量
 _____ トン ÷ 0.20 トン/m³ = _____ m³

1日の総排出量 1日の総排出量 1日の総排出量
 _____ m³ × _____ 日 = _____ m³

※1 建物延べ床面積、保管場所床面積の根拠となる求積図を添付してください。

※2 収集間隔日数は、毎日収集の場合=1日、週2回収集の場合=最も長い収集間隔日数(例:4日)として下さい。

※3 保管場所必要容量計算書の数字に関しては小数点以下4桁まで5桁目は繰り上げて下さい。